

CheFuKo 里親プロジェクト

このような施設を支援しています

1. ラダクリシュナ コミュニティセンター

施設概要

入居者：13人(2018年11月現在)

年齢：6～18歳の男子

寄付：資金を提供している海外団体はCheFuKoだけです。近隣住民からの食べ物の寄付が多いです。高僧であるグルがアメリカ、ヨーロッパ諸国、オーストラリア、イスラエル、インドなど世界各国で講演をし、そこで得た礼金をラダクリシュナの運営に充てています。



ラダクリシュナの子どもたち

特徴

同施設の運営者がグルの1人です。グルとはサンスクリットの僧侶であり、かなりの高位です。とくに運営者はグルの中でも108位という階位にあたり、これは1万人に10人ほどしかありません。サンスクリット語の十分な力に加え、学歴、また試験に合格し証明書をもらわないとグルは名乗れません。ラダクリシュナではサンスクリット語の教育を重視しており、子どもたちの中にはグルを目指して勉強に励む子もいます。人間とはどう生きるべきか、いかに人を助けるかということテーマに教えています。そのため、ネパールでの震災直後40カ所の施設に食べ物を提供したり、家を失った人たちが集まる場所へ食事を作りに行ったりするなど積極的な支援を行いました。

寄付金によってより質の高い教育を

子どもたちは寄付金によって以前より質の高い教育を受けられる学校に転校することができました。現在のネパールでは、学歴で成功しなくても特別な技術やアーティスト方面で成功する人もいますがやはり確実なのは学歴であると考えられています。一定以上の学歴があれば将来がある程度保障されるというのが共通の認識です。そのため、施設の収入が安定し子どもたちをより良い学校に送り込むことは大きな功績になります。

現在の学校に通い始めてから、学力に加えて子どもたちのマナーが良くなったり身の回りの整理整頓に取り組むなどきれい好きになったりと良い変化がみられます。

2. ライジングロータス

施設概要

入居者：29人(2018年11月現在)

年齢：4～17歳の女子(1人だけ4歳の男児がいる)

寄付：米国の団体と個人、そしてCheFuKoが資金を提供しています。



ライジングロータスの

子どもたち

特徴

教師を雇い、子どもたちの宿題など学習のサポートをしています。一番の課題は成績を上げることです。特に幼稚園から5年生あたりまでは学習の基礎を作る年齢のため実力がある先生を雇うことが大切になります。また、子ども側の問題としては、もともと頭が良くても授業に集中しなかったり勉強を続けたいという気持ちが弱かったりする子は成績が悪くなります。学期ごとに子どもを一人ずつ評価してもらい、必要に応じて親も交えた三者面談を実施することでどうしたら成績が上がるかを考えます。

寄付金によって貧しい村の子どもたちは

勉強することができます

施設で生活する子どもたちは生活水準の低い村の出身です。例えば、チトワン郡ラプチ地域に位置するカンダ村の生活は非常に貧しく、幼い子どもは不衛生なTシャツを1枚着るだけで、ズボンを履いていません。食事も森の中で育った葉野菜のみで主食はほとんどありません。自給自足の生活をしているため、多くの子どもたちが学校へ通わず家の手伝いをしています。このように、子どもの成長に大切な栄養の確保がままならず、勉強したくてもできない環境の中で暮らす子どもたちを同施設は受け入れています。

支援者の方々からいただいた寄付金は主に授業料などの教育費に使われています。そのお陰で子どもたちは学校に通うことができます。それだけでなく、学校でトップの成績を修める子がいるなどほとんどの子どもたちが成績優秀です。



カンダ村の子ども

主な食卓

どんな生活をしているの？～ライジンググロータス～

～生活編～

勉強

朝は早い子で5時過ぎから、夜は19時くらいから食事時間を抜いて就寝まで勉強をしています。



各自の部屋で勉強

整理整頓

上級生が下級生に布団のたたみ方などを教えます。施設の子どもたちが入所前に住んでいた村では布団がない家庭も多いため、布団の使い方や整頓の仕方を上級生から教わります。下級生は上級生から様々なルールを学びます。



上級生に布団のたたみ方を教わっている

お風呂

お風呂は週に2回です。お風呂といっても、3階にあるトイレのある浴室に自分たちで水を運び水で体を洗います。



トイレのある場所で体を洗う

食事

朝はビスケットとゆで卵とお茶。学校がある日は昼食を持たせる時がありますが資金が足りずビスケットしか持たせられない日もあります。夕食はダルバートなど。子どもたちの成長のためには栄養が十分ではなく、施設長はお肉を食べさせたいと思っていますが金銭的に厳しく現在月に1度しか出せません。



食事中



ダルバート:豆スープと白米、野菜のおかずや漬け物

掃除

自分たちの部屋は自分たちで掃除します。トイレ掃除もします。電気がないので夜は真っ暗です。トイレトーパーがなく水も手桶のため非常に不衛生です。



ほうきで掃除



不衛生なトイレ

～学校編～

朝学習

上級生は朝学習をするために6時過ぎに登校します。



教室で朝学習

下級生も大部屋に集まって勉強をしています。



椅子を机代わりに勉強

登校

上級生が先導し、整列して登校します。学校には徒歩5分ほどで到着。



上級生が下級生の手をひく

朝礼

施設で暮らすバンダナが号令をかけます。施設の子が全校生徒を統率するのは彼女がとても優秀な証拠です。



全校生徒の前で号令をかけるバンダナ

授業

彼女たちが通う私立Green Village Education Foundationは生徒数800人のマンモス校です。年少クラスから10年生までの学生が勉強に励んでいます。



年少クラスの授業風景

同校は地区内の名門校として3年連続トップ校に輝いた実績があります。

全国でもトップクラスの成績を残す生徒が多く在席しています。



9年生の理科の授業

詰め込み教育ではなく、生徒の主体性を重視しており、一人一人が理解できるまで教えます。



糸電話を使った実験で音の伝導を学ぶ

施設の子どもたちは他の生徒の模範になるほど成績が優秀で福祉活動へ積極的な参加も手本になっています。

給食

給食は2種類から選べます。この日はドーナツかやきそば。



施設の5年生の子たち